

ウトロ地域マリンビジョンニュース

発行・編集・・・ウトロ地域マリンビジョン協議会事務局

ウトロ地域マリンビジョンニュースは、町民のみなさんと一緒にウトロ地域で水産業を核とした地域振興を進める「ウトロ地域マリンビジョン計画」の推進状況などをお知らせするお便りです。

ウトロ地域マリンビジョン協議会 からの報告

平成26年12月22日にウトロ地域マリンビジョン協議会を開催しました！

出席者24名

ウトロ地域マリンビジョン計画書(素案)について説明し、計画書イメージについては、委員から概ねの理解が得られたことから、次回の協議会で最終(案)を提示します。

○構想の柱は、現行ウトロ地域マリンビジョン計画書の考え方を継承して「漁業と観光の連携」をメインテーマに「漁業生産増大プログラム」、「漁業の観光資源化プログラム」、「連携基盤整備と活用プログラム」の3つのプログラム。

○防災面については、ウトロ漁港の将来像に、「北海道地域マリンビジョン21」で追加された「防災減災支援型漁港」の考え方を取り入れたことから、ウトロ漁港が「防災減災支援拠点」として位置付けられている旨を記載。また、今後「連携基盤整備と活用プログラム」の表に、防災減災対応施設として、人工地盤、-5.0m特定目的岸壁を記載する。

漁業と観光の連携事業

現計画記載の連携事業について、各委員が3段階評価した結果を参考に、今後の方向性を検討した。またこれまでの新規事業等の検討経過を併せて、下記の取組を行うことを確認した。

- ・網起こし見学
- ・荷さばき作業見学
- ・大漁祈願祭
- ・小ネタ集と組み合わせたPR媒体の作成
- ・オホーツクサーモンバザール
- ・サケ祭り(産業まつり、収穫祭でも)
- ・漁協婦人部食堂と直売所の展開
- ・青年部出前授業や体験乗船など学校教育への協力
- ・フェイスブックでの情報発信
- ・知床ファンタジア
- ・ゴミ護美大作戦
- ・水揚作業や大型観光船の移動の変化にあわせた旧港、新港の利用について、マリンビジョン協議会を検討の場としていく。
- ・人工地盤2階の活用とPRの検討
- ・用地整備などの漁港整備事業
- ・親水エリア作り
- ・迷惑車両対策としてゲートと併せた管理
- ・人工地盤2階が荷揚げ見学のできる場であることを宣伝。荷揚げ作業解説看板
- ・ゴミ捨て禁止看板

ウトロ漁港人工地盤で 大型車両の走行試験が行われました



大型バスに乗車し、
スロープでのすれ違い試験



平成26年12月11日に大型車両による人工地盤の走行試験が行われました。
ハンドル伊藤産業(有)、斜里バス(株)にご協力をいただき、一般利用も期待される人工地盤2階と
漁獲物が積込される1階部分を大型トラック・大型バスが走行しました。

【試験結果】

- 国道から漁港への出入口2カ所についてはペレケ川側の出入口は漁業関係車両専用で斜里市街側は漁業関係車両・その他の一般車両の出入口とする。
- 人工地盤2階へ上がるスロープでの大型車両のすれ違いについてはスロープ幅がややせまく感じられた。1階部の通路については大型車両のすれ違いに支障はない。
- 人工地盤2階へ上がるスロープの手前でバスが乗客を降車させることは支障ない。
- 人工地盤2階について、現計画動線では狭いため大型車両のメイン走行車線を再検討する。大型車両用・小型車両用の駐車スペースについても再検討する。



2階先端部で大型トラックと大型バスのすれ違い試験

人工地盤1階での大型トラックによる走行試験

